

2016 年度学習院大学史学会例会

講演会「ル・コルビュジエ・モダニズム建築・日本への影響」

国立西洋美術館見学会

◆開催要項

講演会「ル・コルビュジエ・モダニズム建築・日本への影響」と国立西洋美術館見学会

2016 年 11 月 26 日（土）

※学習院大学学生と史学会会員は無料・予約不要／非会員は要予約

※第一部・第二部のみの参加も可能

・第一部 講演会（10:30-11:30）

中野隆生氏（学習院大学教授）

・第二部 見学会（14:00-15:00）

於 国立西洋美術館常設展

◆例会報告（文責：佐々木恵海）

今年度の史学会例会では上記のように銘打ち、11/26（土）に第一部で中野隆生教授による講演会、第二部で国立西洋美術館常設展の見学会を行いました。

・第一部 講演会「ル・コルビュジエ・モダニズム建築・日本への影響」

第一部では第二部の見学会の事前学習として、中野教授にル・コルビュジエの建築やその思想、時代背景についてご講演いただきました。コルビュジエが何を考え、それをどう作品につなげていったのか知ることができたかと思われます。

・第二部 見学会 国立西洋美術館常設展

第二部では第一部の講演を踏まえた上で、国立西洋美術館の見学会を行いました。ピロティやスロープなど、講演会で勉強したコルビュジエ建築の特徴が随所に見られ、参加された方々もじっくりご覧になっていました。

本例会を開催するにあたり、ご協力をいただきました中野先生及び史学会関係者、参加者の皆様にはこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

